

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	建築指導課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2488
	基本事業	避難所などの耐震化及び急傾斜地崩壊防止対策の推進	事業実施主体	市	
	事務事業	盛土安全対策事業	事業期間	令和 5年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	盛土による土砂災害等のリスクがある区域を「規制区域」に指定し、適切な許認可事務等を行うため、地形・地質や土地利用の状況把握など基礎調査を実施し、危険な盛土の包括的な規制に取り組む。				
6年度概要	・基礎調査（規制区域指定）【繰越明許】 ・基礎調査（既存盛土調査）				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務有）	

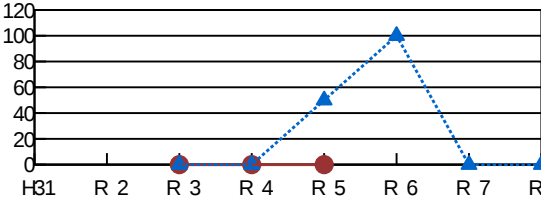
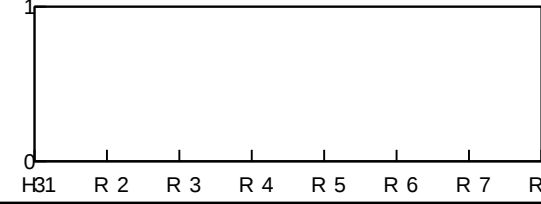
【事業の目的】

対象（何を）	高松市民
意図（どのような状態にしたいか）	盛土等を行う土地の用途やその目的にかかわらず、危険な盛土等を全国一律の基準で包括的に規制し、盛土等による災害から市民の生命・身体を守る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
規制区域指定及び規制の運用開始の進捗率	%	0	0	0	0	0

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	基礎調査の進捗率	%	目標値	0	0	50	100	50
			実績値	0	0	0		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度) 0.0%
	盛土等に伴う災害が発生するリスクのあるエリアを規制区域に指定するために必要な基礎調査を実施したが、関係機関との協議に日時を要したことにより、年度内に事業の完了が不可能となったため事業の一部を翌年度に繰り越し、目標値の達成には至らなかった。							0点
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）		目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）							(達成度)

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	0	0	27,153	59,293
（事業費）	〔円〕	0	0	6,830	38,970
（職員人件費）	〔円〕	0	0	20,323	20,323

【評価】

評価ランク（A～D）	D	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
規制区域指定後の許可事務等について、庁内における関係課が多岐に渡ることから、スムーズな連携体制の構築に向けて協議を重ねた。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
規制区域の指定に向けて、周辺自治体とも調整しながら準備を進めるとともに、盛土等に対する勧告・命令等の事務に必要な、既存の盛土等の分布等に関する基礎調査を実施する。			

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	建築指導課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2488
	基本事業	避難所などの耐震化及び急傾斜地崩壊防止対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	住宅建築物耐震改修等事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	高松市耐震改修促進計画に基づき、地震発生時に市民生活の生命線となる緊急輸送道路を確保するため、民間建築物に対し、耐震診断及び耐震改修又は建替えに要する費用の一部を補助することにより、沿道の民間建築物の耐震化を促進する。 また、地震時の建物の倒壊等によって発生する人的及び経済的被害を軽減するため、住宅の耐震診断及び耐震改修に要する費用の一部を補助し、民間住宅の耐震化を促進する。				
6年度概要	・民間住宅の耐震診断棟数 80棟 ・民間住宅の耐震改修棟数 40棟、簡易改修等 3棟 ・緊急輸送道路沿道の耐震診断棟数 1棟 ・義務化建築物の耐震診断棟数 1棟、補強設計 1棟 ・義務化建築物の耐震改修等棟数 0棟				
重点取組事業	一般重点	市長マニフェスト	事務事業の類型	ソフト事業（法律による実施義務無）	

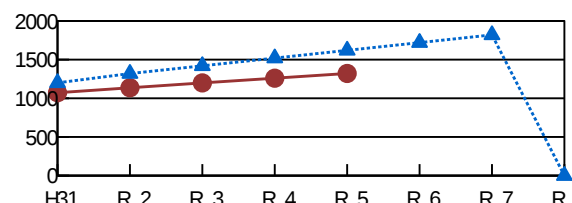
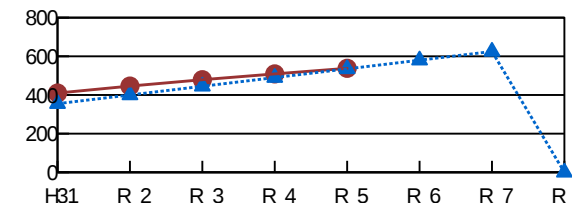
【事業の目的】

対象（何を）	高松市耐震改修促進計画に基づき、耐震改修工事予定の緊急輸送道路沿いの一定の条件を満たす民間建築物、耐震診断が義務化となった民間建築物及び民間住宅とする。
意図（どのような状態にしたいか）	耐震診断や耐震改修にかかる費用負担を軽くするための補助制度を設けることにより、住宅・建築物の耐震化を促進し、地震時の建物の倒壊等によって発生する人的及び経済的被害を軽減する。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
民間住宅の耐震診断実施済棟数	棟	63	61	61	100	100
民間住宅の耐震改修実施済棟数	棟	33	30	29	45	45

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	民間住宅の耐震診断実施済棟数（累計）	棟	目標値	1,420	1,520	1,620	1,720	1,620
			実績値	1,199	1,260	1,321		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	 （達成度） 81.9%						28点
	長期にわたる新型コロナウイルス感染症の影響により、建物所有者が業者等の自宅訪問を避ける等の理由で、令和2年度から申請件数が大きく減少した。令和5年度においても申請件数は伸びず、単年度及び累積ともに目標値を達成できなかった。							
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	民間住宅の耐震改修実施済棟数（累計）	棟	目標値	445	490	535	580	535
			実績値	479	509	538		
成果指標	成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	 （達成度） 100.6%						35点
	耐震診断実施件数の減少により、耐震改修実施件数も令和2年度から減少し、令和5年度においても単年度は目標値を達成できなかったが、累積は目標を達成できた。							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	〔円〕	196,466	137,715	64,392	99,962
（事業費）	〔円〕	170,418	111,895	38,424	69,478
（職員人件費）	〔円〕	26,048	25,820	25,968	30,484

【評価】

評価ランク（A～D）	B	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入）			
民間住宅の耐震改修等事業については、出張相談会を参加者が多いコミュニティセンター等で継続して実施した。耐震診断義務化の建築物については、所有者に対し、耐震化に取り組むよう周知・啓発を行った。今後も、所有者への継続的なアプローチが必要である。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入）			
民間住宅の耐震改修等事業については、出張相談会の開催にあわせて、コミュニティセンター等と連携した周知活動等を効果的にを行い、さらなる事業の促進を図る。 耐震診断義務化の建築物については、所有者へのアプローチを強化するとともに、物件ごとに未着手の理由等を整理し、粘り強く対応していく。 危険ブロック塀等の撤去促進については、継続して周知・啓発活動を重ねていく。			

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	河港課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2522
	基本事業	避難所などの耐震化及び急傾斜地崩壊防止対策の推進	事業実施主体	市	
	事務事業	急傾斜地崩壊防止事業	事業期間	平成 28年度～令和 5年度	

【事業全体概要】

事業の概要	急傾斜地崩壊防止事業 市民から要望のあった急傾斜地のうち、事業採択基準に合致した箇所において崩壊を防止する施設を整備する。				
6年度概要	(急傾斜地崩壊防止事業) 急傾斜地崩壊防止対策事業 一式 県施行急傾斜地崩壊防止対策事業 一式				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	インフラ・施設等整備

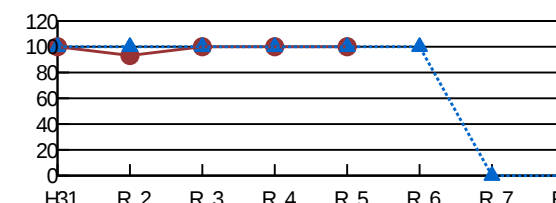
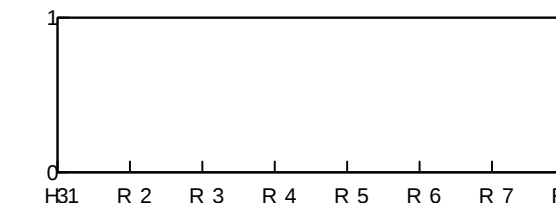
【事業の目的】

対象(何を)	急傾斜地崩壊防止対策事業要望箇所
意図(どのような状態にしたいか)	急傾斜地崩壊防止事業を進めることで、市民が安全で安心して暮らせる環境を形成する。

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
単年度事業完成延長	m	41	16	43	30	43

【事業の成果】

成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	完成までの進捗率	%	目標値	100	100	100	100	100
			実績値	100	100	100		
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 令和3年度採択地区の要望案件について、令和4年度より2か年で計画し、施工を完了した。							(達成度) 100.0%
	(目標達成度)							35点
成果指標	成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
			目標値					
			実績値					
成果指標	成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか)							(達成度)
	(目標達成度)							

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度(決算)	令和 4年度(決算)	令和 5年度(決算)	令和 6年度(予算)
トータルコスト	[千円]	42,291	40,104	53,458	22,100
(事業費)	[千円]	31,117	29,028	42,017	12,917
(職員人件費)	[千円]	11,174	11,076	11,441	9,183

【評価】

評価ランク (A～D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入) 令和5年度工事箇所については、繰越せずに完了した。			
【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入) 改革案なし			

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	都市整備局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	都市計画課
	施策	防災・減災対策の充実		電話番号	087-839-2455
	基本事業	避難所などの耐震化及び急傾斜地崩壊防止対策の推進		事業実施主体	市
	事務事業	鉄道施設安全対策事業		事業期間	平成 28年度～令和 5年度

【事業全体概要】

事業の概要	今後発生が予想される地震や経年劣化による鉄道施設の被害を未然に防止し、災害発生時における緊急応急活動の機能確保や鉄道利用者の安全確保を図るため、緊急輸送路との交差箇所での耐震対策及び老朽化が認められる施設の長寿命化対策の実施に対し、事業主体である鉄道事業者へ事業費の一部を支援する。				
6年度概要	鉄道施設総合安全対策事業費補助金（老朽化対策事業） ○ 高欄改良 L = 4 1 3 m				
重点取組事業		市長マニフェスト		事務事業の類型	インフラ・施設等整備

【事業の目的】

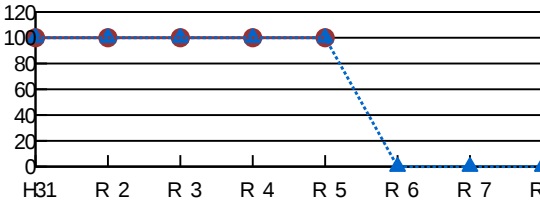
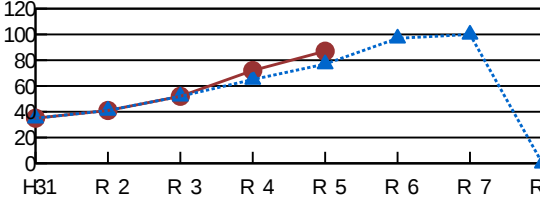
対象（何を）	補助対象事業者：鉄道事業者（ＪＲ四国、ことでん） 耐震対策事業：緊急輸送道路と交差する高架橋 長寿命化対策事業：老朽化が認められる鉄道施設
意図（どのような状態にしたいか）	緊急輸送道路と交差する鉄道施設の耐震補強及び老朽化施設の長寿命化対策を実施し、災害発生時における緊急応急活動の機能を確保するとともに、鉄道の安全運行及び鉄道利用者の安全確保を図る。

【事業の活動】

活動指標名（具体的にどのような活動をしたか）	単位	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
耐震補強施工箇所	箇所	0	0	0	0	0
改良済延長（ＪＲ栗林高架）	m	2,399	2,838	3,279	3,672	3,269

【事業の成果】

【事業の成果】

成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	耐震補強化率（事業費ベース）	%	目標値	100	100	100	0	100
			実績値	100	100	100		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	耐震対策事業については、平成 2 8 年度に目標を達成し事業が完了した。							(達成度) 100.0% 35点
								
成果指標	成果指標名（どのような成果が得られたか）	単位	種別	R 3	R 4	R 5	R 6	中期目標 R 5
	長寿命化率（事業費ベース）	%	目標値	52	65	77	97	77
			実績値	52	72	87		
成果指標の達成度（目標に対してどれだけ達成できたか）	栗林架道橋（ＪＲ）の高欄改良 L = 4 4 1 m の施工が完了し、目標とおり長寿命化が進捗した。							(達成度) 113.0% 35点
								

【コストの推移】

指標名	単位	令和 3年度（決算）	令和 4年度（決算）	令和 5年度（決算）	令和 6年度（予算）
トータルコスト	[千円]	31,583	34,208	34,642	33,614
（事業費）	[千円]	29,544	32,112	32,309	32,334
（職員人件費）	[千円]	2,039	2,096	2,333	1,280

【評価】

評価ランク（A～D）	A	今後の方向性（拡充、継続、改善継続、縮小、廃止）	継続
【昨年度の実施状況と課題】（評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入） 耐震対策事業については、平成 2 8 年度に目標を達成し、事業が完了した。長寿命化対策事業は、高欄 L = 4 4 1 m の改良実施によって予定とおり事業が進捗した。引き続き円滑な事業進捗による早期の事業完了が望まれる。			
【今後の事業方針】（評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入） 鉄道事業者が取り組む長寿命化対策に、引き続き国・県と連携して支援し、早期の事業完了を促す。			